

庄内町立図書館だより

よめっちゃ

(本をたくさん

「読んでね」との願いを込めて)

2017.2.28(No.21)



図書館カレンダー ★開館時間

平日 午前 9:00～午後 6:00(3月まで)

⇒休館日 午前 9:00～午後 7:00(4月から)

土日 午前 9:00～午後 5:00

3月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

おはなしらんど ★たのしいおはなし会

☆日時：3/15(水) 10時～

☆会場：図書館ホール

☆内容：パペット劇こぶとりじいさんほか



4月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | | | | | | |

リサイクル資料 配布会のお知らせ

日程：3/18(土)・19(日)

時間：9:00～17:00

場所：内藤秀因水彩画記念館入口付近
(町立図書館入口よりお入りください)

おひとりさま1回まで、10冊以内となります。
お気に入りの本をずーっとあなたのそばに♡ぜひご利用ください♪

庄内町内藤秀因水彩画記念館

開催中の展覧会をご紹介します(～3/12)



庄内地方にゆかりある7名の若手作家による
絵画や工芸作品約25点をご紹介します。

関連展示

記念館×図書館
コラボレーション企画

作家の本棚

「Shonai Art Collection」出展作家のみ
なさんからお気に入りの本をご紹介いた
だきました。コメントとあわせて記念館
入り口に展示していますので、お手にと
ってご覧ください。
本企画が本や美術との小さな出会いの場
となりましたら幸いです。

3/4(土)～4/2(日)

春休み特別貸出

10冊まで貸出できます!

マンガ・雑誌もOKですよ

予告です!

4月から、新聞&雑誌の種類が
増える予定です。あなたの情報
収集がもっと充実したものに!!
詳細は次号をお楽しみに!



お問い合わせ 図書館・内藤秀因水彩画記念館

43-3039

分館 56-3308

図書館 HP→<http://www.town.shonai.lg.jp/library/>

職員のおすすめ本

ホワイトデーに ちなみまして

白

『使用人たちが見たホワイトハウス』
ケイト・アンダーセン・ブラウワー/著
江口 泰子/訳(光文社)



アメリカのトランプ新大統領の就任に伴い、ホワイトハウスをテレビでよく目にするが、あのホワイトハウスには、執事、ドアマン、料理人、フローリストなど100人以上のスタッフ(使用人)がいて、大統領の日々の生活を支えている。彼らはアフリカ系アメリカ人が多く、大統領が交代しても基本的に交代しないため、歴代大統領の真の姿を見ている歴史の証人でもある。



大統領を支える歴代のスタッフたちに徹底取材し、大統領一家の知られざる裏側を描き出した本書は、アメリカのベストセラー・ノンフィクションとなった。ちょっと「のぞき見」の気分が味わえる一冊である。

『くじらぐもからチックタックまで』 石川 文子/編
(フロネーシス桜蔭社)



「くじらぐも」…何か、聞いたことがあるぞ!?
そうです! 小学校1年生のこくごの教科書に載っていた、あの「くじらぐも」が教科書から飛び出し、全文掲載されています。1年2組の子どもたちと、まっしろいくものくじらの楽しい時間。私自身、1年2組だったので、本当に「くじらぐも」が現れないかなあ、と心躍らせたことを覚えています。

作者の中川李枝子氏のインタビューも掲載されており、作品誕生までの苦勞、根底に込められた平和への願いにも気づかされます。

他にも、これ、小学校のとき読んだ! というなつかしい全20作品が勢ぞろい。子どもたちはもちろん、かつて子どもだったすべての大人の皆さんにもおすすめです。



『うさぎのマシュマロ』 クレア・ターレー・ニューベリー/作
劉 優貴子/訳(講談社)



うさぎを飼ったことがありますか? 飼ったことがある方、もちろんない方も必ず癒されます。うちには、もうすぐ5歳になるうさぎがいます。本の中のなんでもかじるところの描写は、かなりリアルで私も何度プチ切れそうになったことか…。でもすべて許してしまう力がうさぎにはあるんです。この本には、うさぎのほかにもう一匹ねこが登場してきます。この真っ白いうさぎのマシュマロとねこのオリバーの関係がだんだんと仲良くなっていく姿にもうメロメロです。今、私はねこも飼おうかかなり本気で悩んでいます。あなたもぜひほんわか、ふわふわ、もふもふの世界へ!



『仮往生伝試文』 古井 由吉/著 (河出書房新社)

古井由吉による日本文学の傑作といわれる本です。書名のとおり、仮の往生について語った試文なのですが…非常に難解です…。私は完読できていません!



語られる時代は古代から現代へ自由に行き来し、文章も古典の書き下し文のようなものから日記形式まで多岐にわたります。退屈な作品かもしれませんが、日本語を読んでいるという醍醐味が味わえる作品です。

当館で所蔵している初版は白布の素敵な装丁なのですが、読み始めると頭の中も真っ白になるかもしれない名作です。



『余韻を聞く』 白洲 正子/著 (世界文化社)

白洲正子氏による随筆集です。日本の古典文学や美術をテーマとした随筆が多く、読みすすめるうち、モノと親しく交わるたのしさが筆者から読者に伝播してくるようです。研ぎ澄まされた言葉も魅力ですが、随筆の内容とつながるカラー写真も美しく、写真があることで各随筆のイメージがより鮮やかなものになっています。

また、Ⅲ章には交友のあった人々への書簡が収録されています。随筆の言葉との違いも面白いので、ご興味のある方はチェックしてみてください。



『ゆでたまごひめ』
荻田 澄子/さく、山村 浩二/え (教育画劇)

真っ白でまんまるなゆでたまごひめ。お城での毎日に飽きて、ころんころんと外に飛び出してしまいます。そこに忍び寄るのはあやしげな三角形…ひめはどうなるのでしょうか? ソーセイじいやハンサムなハムサンド王子などネーミングも愉快的なキャラクターが登場します♪

息子が好きな『おやおやおやさい』という絵本。この本も同じ方の絵だと知り、読んでみるとやはりヒット! 食べものたちがかわいくユニークに描かれ、好き嫌いもなくなるかも! 続編『ゆでたまごひめとみーとどろぼーる』ではひめの白いお肌が真っ黒に…!? こちらもおすすめです。



白色はあなた色に染めて♡のつもりが、すっかり黄ばんでしまい…心の漂白剤が欲しい今日この頃です。こちらで紹介した本はすべて当館にごさいます。予約できますのでカウンターまでお問合せください♪